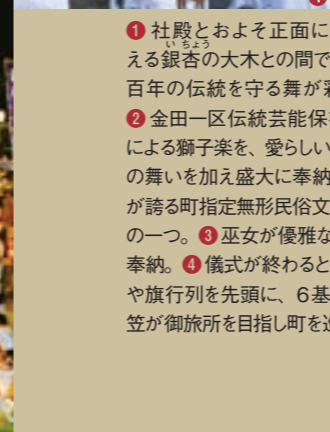


5 「泣く子は元気に育つ」と言われ、鬼が竹の棒で子どもの頭を軽く小突く恒例の風景。6 威勢の良い掛け声と共に、心をついに町中を練り歩く。7 会場を埋め尽くす迫力満点の三基練り。



8 光彩を放つ電飾の山笠が掻き手に操られ会場の熱気は最高潮に。9 一糸乱れぬ動作で見る者たちを圧倒させる掻き手。10 傾きながら回転する「練り回し」。



1 社殿とおよそ正面にそびえる銀杏の大木との間で、数百年の伝統を守る舞が彩る。2 金田一区伝統芸能保存会による獅子楽を、愛らしい稚児の舞を加え盛大に奉納。町が誇る町指定無形民俗文化財の一つ。3 巫女が優雅な舞を奉納。4 儀式が終わると御輿や旗行列を先頭に、6基の山笠が御旅所を目指し町を巡行。



photo report yamagasa 受け継がれる伝統

【金田稲荷神社神幸祭】
【金田・神崎山笠競演会】

金色煌めく 福智の秋

気品漂う囃子の音色と華麗な太鼓のリズムが響き渡り、金色の山笠が姿を現す。地域に独特の高揚感が高まる中、待ちわびた祭典が今年も盛大に行われた。昼夜にわたって練り広げられたこの熱い1日間を、写真とともに振り返る。

伝統と感動を受け継いで

威勢の良い掛け声と、囃子の音色が爽やかな秋風に乗って響き渡る。10月17日・18日に金田地区で稲荷神社神幸祭、第14回金田・神崎山笠競演会が行われ、武者人形で飾られた金色の山笠が町内を練り歩いた。

17日正午過ぎ、約400年の歴史を誇る稲荷神社の祭礼に、地元で山笠を披露する「村回り」を終えたそれぞれの山笠が集結。個性際立つ豪華絢爛山笠6基が顔をそろえた。その法の被を着た掻き手や地域の人々が見守る中、境内では「お発ち式」が厳かな雰囲気の中とり行われ、五穀豊穡や子孫繁栄が願われた。この祭のために帰郷する人も多い、地域の人々にとって特別な催し。故郷を愛する人々の心が地域に息づく伝統行事を大切に守り続けている。

秋空が夕闇に包まれると電飾に光が灯り、祭の夜を華麗に彩る。昼間の煌びやかな姿がよりいっそう際立った山笠が集結し、今年で14回目となる「金田・神崎山笠競演会」が始まった。金田ふれあいイベントパークを舞台に、神幸祭奉納を行った金田地区の山笠6基に加え、神崎地区の山笠2基が二夜にわたり、自慢の山笠を豪快に披露。今年初めて行われた「3基練り」や練り回し、迫力満点の旋回でギャラリーを圧倒させた。年々進化を重ねているこの一大イベントの来場者は2日間で延べ2万人。「オーラリーヤッサー」のかけ声や囃子の音色をかき消すほどの拍手や歓声が祭をさらに熱く盛り上げ、いつまでも町の夜空に響き渡っていた。



神崎垣田山笠会 (神崎)

神崎二山笠愛好会 (神崎)

平原山笠 (金田)

六区山笠 (金田)

宝見山笠 (金田)

町部山笠 (金田)

上金田山笠 (金田)

一区山笠 (金田)

